



日本共産党文京区議会議員
まんだち幹夫 通信
 2010年7月30日号 No.154

'みなさんをいつもまんやかに、

区議団控室：5803-1317（直通）
 萬立幹夫事務所：文京区小石川2-23-7
 ・fax 3868-8355
 メール：mandachi@jcp-bunkyojugidan.gr.jp

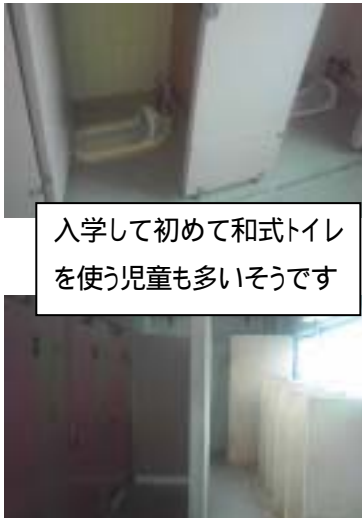
《このニュースは区議団ホームページ <http://www.jcp-bunkyojugidan.gr.jp/>でもご覧いただけます》

毎年恒例の「真夏の学校訪問」が始まりました
**学校のトイレはいっせいに洋式トイレに交換を
 安心して学べる教育環境の整備をもとめます。**

今年は中学校8校、小学校9校を、施設の改修や学校教育への区政への要望をお聞きするために訪問します。

私は27日に三中、指ヶ谷小、誠之小、28日には十中、茗台中と一中にうかがいました。2年ぶりに訪ねた学校もあれば今回が初めてのところもありしたが、やはり驚きの連続です。

施設面ではまずはトイレ。区議会でも指摘していますが、やはり洋式トイレが少ないです。ある学校の「来賓用」男子トイレは和式でしかも1つだけ、学校側も困惑しています。「洋式に換えるには広いスペースが必要」と教育委員会は交換できない理由にしていますが、現場を見てみると同じスペースで可能だとわかりました。

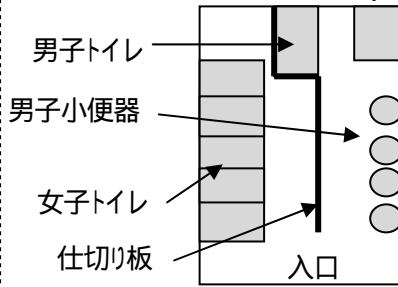


入学して初めて和式トイレを使う児童も多いそうです

最も驚いたのはまるで「男女共用」トイレ。入口は一つで、真中に仕切りがあり左右を男女で使用している小学校もありました（左下写真・左図）。洋式化は当たり前、即刻改善することは教育上だけでなく人道上の問題です。

児童数が最も多い誠之小は昇降口玄関が足りないため、ある学年は2階に下駄箱があります。雨の日は廊下や階段がびしょびしょに、知りませんでした。

児童数が最も多い誠之小は昇降口玄関が足りないため、ある学年は2階に下駄箱があります。雨の日は廊下や階段がびしょびしょに、知りませんでした。



災害にそなえ、町ぐるみで訓練、連携

25日の午前、指ヶ谷小学校の校庭で指ヶ谷町会による防災訓練が行われ見学させていただきました。

区防災課による起震車による振動体験や煙体験、消火器やAEDの使い方指導など盛りだくさんでした。区内でも数町会しか持っていないD級ポンプも備えられ、定期的にチェックをしているそうです。

異常気象やたびたび地震の情報を聞くにつけ、日頃の備えと訓練、また区とのきめ細かな連携が求められていると実感します。



うまく消火できるか

まんだち日誌

24日 午前、「赤旗日曜版」の配達。一時余りですが猛暑のため頭がくらくらします。タオルと水は必携です。熱中症にご注意ください。

25日 午後、町内の堀坂拡張の開発行為に関する住民の会の集まりに参加。4m道路が拡張され便利になる一方で、交通量が増して危険性というリスクも背負うことに。また隣接地へのマンション建設のため大型工事車両が中大側から逆送する計画も、あまりに危険が伴います。安全と環境保持が優先されなくてはなりません。

26日 上記のように学校訪問が始まりました。今後連続して、この紙上でも報告します。やはり現場には様々な要望があり、重要です。